

中期経営計画における経営目標・経営指標の進捗状況

法人名等		目標の内容・実績			
【法人名】 公益財団法人埼玉県公園緑地協会	目標	有料公園施設利用者数	利用料金・事業収益等	キャッシュレス決済の導入率	連携・協働事業参加者数
		【令和5年度目標】 6,163千人	【令和5年度目標】 2,104百万円	【令和5年度目標】 42%	【令和5年度目標】 12千人
		【令和6年度目標】 6,189千人	【令和6年度目標】 2,157百万円	【令和6年度目標】 64%	【令和6年度目標】 12.5千人
【中期経営計画の期間】 令和5年度～令和7年度	各年度の実績	【令和7年度目標】 6,555千人	【令和7年度目標】 2,191百万円	【令和7年度目標】 77%	【令和7年度目標】 13千人
		【令和5年度実績】 5,773千人	【令和5年度実績】 1,993百万円	【令和5年度実績】 40%	【令和5年度実績】 11千人
		【令和6年度実績】 5,927千人	【令和6年度実績】 2,204百万円	【令和6年度実績】 74%	【令和6年度実績】 13千人
	法人による自己評価	未達成(目標比▲262千人) ・令和6年度の目標値6,189千人に対し、2,62千人(4.2%)減となった。	達成(目標比プラス47百万円) ・令和6年度の目標値2,157百万円に対し、47百万円(2.2%)増となった。	達成(目標比プラス10%) ・令和6年度の目標値64%に対し、74%(10%増)となった。	達成(目標比プラス0.5千人) ・令和6年度の目標値12.5千人に対し、13千人と0.5千人(4%)増となった。
		主な理由 ・熊谷スポーツ文化公園 熊谷ドーム ▲80千人 修繕休館による減 ・3水上公園(プール) ▲30千人 台風による休園の影響 ・県民健康福祉村 ▲38千人 ときめき元気館内屋内プール休止の影響 ・秋ヶ瀬公園 ▲10千人 野球場、ソフトボール場などの改修工事に伴う減	主な理由 ・埼玉スタジアム 118百万円 代表戦の開催増による増(4試合) ・こども動物自然公園 26百万円 クオッカ舎の整備効果による入園者増による増 ・羽生水郷公園 10百万円 直営売店の売上好調、ガラ・ルファ体験直営化による増 ・3水上公園(プール) 27百万円 リゾートエリアの拡張等による増	主な理由 ・令和7年度以降に導入予定であった「委託売店(熊谷スポーツ文化公園他5公園)」や「上尾運動公園の運動施設(テニス・体育館等)」、「バーベキュー事業(羽生水郷公園他2公園)」を前倒して導入したため、目標を上回る進捗を達成することができた。	主な理由 令和6年度は従来のボランティア活動に加え、地域活動団体や地域企業との連携・協働した新規事業を開催することにより、目標を上回る進捗を達成することができた。 令和6年度の新規事業として、「プレーパークの開催(上尾運動公園、久喜菖蒲公園)」、「こども食堂と連携した芋煮会(戸田公園)」等を開催し、実施事業数も令和5年度の「58事業」から令和6年度は「67事業」に増加した。
		今後の見通し等 利用者数は緩やかに増加しているが、目標値と比べると下回っている。 令和7年度は更なる利用者サービスの向上を図ることで利用者数の増に努めて参りたい。	今後の見通し等 利用者の安心安全を確保しながら年間を通じて様々なサービスを展開し、収益増に努める。また、利用者のニーズが事業化できるか検討し、収益増に繋がるよう取り組んでいく。	今後の見通し等 令和7年度の目標は達成が見込まれる。キャッシュレス決済導入スケジュールに沿って、目標の達成に向けて取り組んでいく。	今後の見通し等 地域住民や企業・学校などと連携を強化し、目標達成に向けて取り組んでいく。